

## 子どもたちの声

- ・ 新聞作りの取材から編集まで、本格的な体験をすることができた。特に、編集は大変だったが、講師の方々のていねいなアドバイスにより、伝えたいことを「短く」「詳しく」記事にすることができてよかった。（中2男）
- ・ 自分たちが作った新聞を池上先生に読んでいただけてうれしかった。もっと、いろいろなことを知りたいという気持ちをもつことができた。来年もこの「ジャーナリストスクール」に参加したい。（小5女）
- ・ 取材活動では、みんなで協力することの大切さや、一番びっくりしたことを記事の最初に書くことなど、学校では教われないことを学んだ。（小5男）
- ・ 避難している人を取材して、複雑な思いを知ることができてよかった。編集作業では、正確な情報を伝えるために何度も見直す大変さが分かった。（小6男）
- ・ 取材活動では、もっと福島のことをたくさん知りたいと思った。池上先生のお話を聞き、自分も池上先生のように分かりやすく伝えたいと思った。ジャーナリストスクールでたくさんの友達ができ、新聞の作り方も教わった。この経験をこれからの生活に役立てたい。（小5男）
- ・ 取材した福島のことについてさらに興味を持つことができた。グループで編集する中で、いろいろな伝え方があることを実感した。講師の先生方がとても丁寧で、常にそばにいてくれてうれしかった。新聞にさらに興味を持ったので、新聞をたくさん読みたい。（高2女）
- ・ 取材や編集作業をとおして、ふるさとの大切さ、情報を伝えるおもしろさを知った。学んだことを学校の委員会でも生かしたい。（小6女）
- ・ 「人に伝えたいことがらは、ことがらの一つ前のことも調べる」という池上先生の言葉を教訓としたい。編集作業は、自分一人の力では無理で、小学生であっても仲間は頼りになると感じた。夏の課題は終わらないかもしれないけれど、それ以上のものを手に入れた気がする。（高1男）
- ・ 池上先生の話やジャーナリストスクールで学んだことは、将来役立つと思った。私たちは、1枚の新聞の編集作業で約2日かかったのに、1日で新聞を完成させる新聞社のみなさんはすごいなと思った。（小6女）
- ・ 編集作業で記事をパソコンで入力する時、出来上がった新聞を想像すると胸がワクワクして楽しかった。ジャーナリストスクールで一番印象に残ったのは、やっぱり池上先生の話だ。（小5女）

